

いちご  
とちぎ創生 15 戦略における課題への対応について

令和元（2019）年 10 月 25 日  
栃木県総合政策部

次期戦略においては、とちぎ創生 15 戦略の成果の検証や新たな視点等を踏まえ、施策の改善・強化に取り組むこととしている。

次期戦略の骨子案における、とちぎ創生 15 戦略の分析・現状評価等に基づく課題への対応については、以下のとおりである。

○基本目標 1 とちぎに安定したしごとをつくる

No	現行戦略	課 題
1	<b>【戦略 1】</b> ものづくり県の更なる発展と新産業の創出	<b>＜県内企業における生産性向上＞</b> 生産年齢人口が減少する中で、本県産業の競争力の強化や更なる成長を図るためには、AI や IoT 等の未来技術の活用を促進していく必要があります。
<b>次期戦略における位置づけ（案）</b>		
<b>基本目標 1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b> <b>【戦略 1】</b> ものづくり県の更なる発展と次世代産業の創出 <b>基本目標 4 新たな時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る</b> <b>【戦略 15】</b> 未来技術を活用したとちぎづくり  Society5.0 の社会を見据え、県内企業における未来技術の活用やデジタル人材の育成・確保を促進します。		

No	現行戦略	課 題
2	<b>【戦略 1】</b> ものづくり県の更なる発展と新産業の創出  <b>【戦略 2】</b> 成長産業へ進化する農業の確立  <b>【戦略 4】</b> 国内外からの観光誘客強化	<b>＜インバウンドの強化や県産品の輸出の拡大＞</b> 東京 2020 大会等の開催により、海外からの注目が日本に向く好機をとらえ、海外の消費需要を積極的に取り込んでいくためには、インバウンドの強化や農産物などの県産品の更なる輸出拡大を図る必要があります。
<b>次期戦略における位置づけ（案）</b>		
<b>基本目標 1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b> <b>【戦略 5】</b> 海外から選ばれるとちぎの創生  インバウンドや海外への県産品の輸出等について、有望性のある市場に対して、国際戦略推進本部のもと、一体的かつ戦略的に施策を展開していきます。		

No	現行戦略	課 題
3	<p>【戦略1】 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出</p> <p>【戦略5】 多様な人材が働きやすい就労環境づくり</p>	<p>＜女性・高齢者等の新規就業者数の向上＞</p> <p>雇用状況が改善する一方で、県内中小企業における人手不足が深刻化しており、女性、高齢者等の就労を更に促進するため、求職者と企業間のミスマッチ等を解消していく必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる</b></p> <p>【戦略11】多様な人材が活躍できる環境づくり</p> <p>職に就いていない女性・高齢者等に対して、きめ細かな就業支援を行うなど、女性・高齢者等の一層の活躍を推進します。</p> <p>また、多様で柔軟な働き方の推進など、仕事と家庭（育児・介護など）の両立ができる職場環境づくりを進めていきます。</p>		

No	現行戦略	課 題
4	<p>【戦略1】 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出</p> <p>【戦略5】 多様な人材が働きやすい就労環境づくり</p>	<p>＜多文化共生の推進＞</p> <p>今後増加することが予想される外国人材については、より良い条件を求めて大都市等に集中することが懸念されており、円滑かつ適正な受入れや定着につながる多文化共生の地域づくりに取り組んでいく必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる</b></p> <p>【戦略11】多様な人材が活躍できる環境づくり</p> <p>外国人材の受入環境の整備や地域住民との交流による異文化理解を進めるなど、外国人材が地域社会の構成員として活躍できる地域づくりを推進します。</p>		

No	現行戦略	課 題
5	【戦略2】 成長産業へ進化 する農業の確立	<p>＜新規就農者の確保・育成＞</p> <p>人手不足を背景に、新規就農者数が減少に転じたことから、本県農業の持続的発展を図るためには、県内外から幅広く若者を確保し、産地や地域の農業をけん引する人材として育成する必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b></p> <p>【戦略2】成長産業へ進化する農業の確立</p> <p>農業を志向する若者等が就農・定着するための体制や、技術力・創造力を養う教育の充実などにより、新規就農者の確保・育成を図ります。</p>		

No	現行戦略	課 題
6	【戦略2】 成長産業へ進化 する農業の確立	<p>＜農業の生産性向上＞</p> <p>生産農家の高齢化や減少が進む中、熟練農業者の栽培技術（経験や勘）の伝承や生産管理の効率化を図っていく必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b></p> <p>【戦略2】成長産業へ進化する農業の確立</p> <p>AI や IoT 等の未来技術を活用するなど、更なる生産性の向上や低コスト化・省力化等につなげていきます。</p>		

No	現行戦略	課 題
7	【戦略4】 国内外からの観 光誘客強化	<p>＜環境に配慮した二次交通の充実＞</p> <p>観光消費額は増加傾向にあるが、一方で観光客の増加に伴う交通渋滞が発生しているため、二次交通等の利便性向上と環境負荷低減に取り組む必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b></p> <p>【戦略4】戦略的な観光誘客</p> <p>県内観光地における鉄道やバスなどの公共交通機関等を利用しやすい環境に整備することにより、更なる観光客の増加と環境負荷の低減を図ります。</p>		

No	現行戦略	課 題
8	<p>【戦略4】 国内外からの観光誘客強化</p> <p>【戦略13】 地域をつなぐ広域連携の強化</p>	<p>＜滞在型観光の促進＞</p> <p>宿泊客数（外国人宿泊数も含む）が伸び悩んでおり、本県が誇る地域資源を生かした観光誘客を促進していく必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる</b></p> <p>【戦略4】戦略的な観光誘客</p> <p><b>基本目標4 新たな時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る</b></p> <p>【戦略12】暮らしやすいとちぎの「まち」づくり</p> <p>本県が有する温泉・歴史・自然・食などの地域資源に磨きをかけ、地域連携等により周遊性の向上を図ります。</p>		

○基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

No	現行戦略	課 題
9	<p>【戦略6】 地元とちぎへの若者の定着促進</p>	<p>＜県内大学生等の県内定着の促進＞</p> <p>県内大学生・短大生は、県外への就職志向が高い状況にあり、県内への就職を促進する必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる</b></p> <p>【戦略6】地域を支える若者の育成と定着促進</p> <p>県内大学生・短大生の就職先の選択肢として県内企業等への関心を高め、栃木県への定着を促進します。</p>		

No	現行戦略	課 題
10	<p>【戦略6】 地元とちぎへの若者の定着促進</p>	<p>＜県内高等学校における人材育成＞</p> <p>若者の地元定着促進を図るためには、高等学校において将来地域を支える人材の育成を図る必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる</b></p> <p>【戦略6】地域を支える若者の育成と定着促進</p> <p>高校段階で地域の課題解決に向けて協働する活動を通して、地域や社会の一員であるとの意識を醸成し、将来のとちぎを支える人材を育成します。</p>		

No	現行戦略	課 題
11	【戦略8】 とちぎへのひと の還流の推進	<p>&lt;「関係人口」の創出・拡大&gt;</p> <p>本県への年間移住者数は目標値に達しているが、若者をはじめとして東京圏への転出超過は拡大傾向にあることから、交流から移住へつなげていくための段階的な取組が必要となっています。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる</b></p> <p>【戦略8】とちぎへのひとの流れの創出</p> <p>地域とつながりを持つ、又は繰り返し往来するなど、本県との継続的な関わりを有し、将来的な移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大に取り組みます。</p>		

○基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

No	現行戦略	課 題
12	【戦略9】 結婚支援の充実	<p>&lt;結婚支援の充実&gt;</p> <p>若い世代で結婚を希望する方は8割以上と高い状況にあるにもかかわらず、婚姻件数は全国同様に減少傾向にあり、晩婚化も進んでいることから、結婚の希望をかなえる取組を進める必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p><b>○基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる</b></p> <p>【戦略9】結婚支援の充実</p> <p>結婚を前向きにとらえる機運を醸成するとともに、マッチング機能を充実するなど、結婚支援の取組を強化します。</p>		

No	現行戦略	課 題
13	【戦略 11】 子ども・子育て支援の充実	<p>&lt;保育サービスの充実&gt; 希望する人数の子どもを持つことができる環境をつくるため、保育サービスの充実を図る必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p>○基本目標 3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる</p> <p>【戦略 10】 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援</p> <p>放課後児童クラブの待機児童解消や保育に係る経済的負担の軽減など、子育てしやすい環境づくりを推進します。</p>		

○基本目標 4 時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る

No	現行戦略	課 題
14	【戦略 12】 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり	<p>&lt;生活交通ネットワーク形成促進&gt; 人口減少・高齢化の進行を見据え、バス路線等の公共交通を維持するための対策を講ずる必要があります。</p>
次期戦略における位置づけ（案）		
<p>基本目標 4 新たな時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る</p> <p>【戦略 12】 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり</p> <p>時代のニーズに合った公共交通の確保、公共交通を円滑に利用できる環境の整備など、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図ります。</p>		